

まちのニュース カメラアイ ~地域の問題をお届けします~

8/11
(月)~



1市3町の小学校5年生がキャンプ体験

三笠山キャンプ場で1市3町合同ジュニアリーダー研修会のキャンプ体験が11日、12日1泊2日の日程でおこなわれました。

この研修会は和寒、剣淵、幌加内、士別の小学5年生を対象に、リーダーとして必要な自主性や創造性を養うために共同宿泊体験をおこなうもので、今回はテントの設営や飯ごうでのご飯の炊き方などを学びました。

夜には士別のリーダークラブSINCと合同でのキャンプファイヤーもおこなわれ、参加した子どもたちは交流を深めていました。

8/11
(月)



THE TON-UP MOTORS がやってきた!

TV番組「ブギウギ奥の細道」でおなじみのブギウギ専務上杉周太がヴォーカルを務める北海道出身のバンド、「THE TON-UP MOTORS(ザ・トンアップモーターズ)」が和寒町にやってきました。

「北海道179市町村ツアー」と題したこのツアーは故郷北海道の人たちの前でパフォーマンスをしたいという思いから始まったもので、和寒町は77番目の市町村ライブとなりました。

この日の公民館は熱気あふれたライブハウスとなり、120名の観客をくぎづけにしていました。

自治会対抗野球大会 優勝は仲町チーム!

和寒町野球連盟主催の自治会対抗野球大会がおこなわれました。

昭和48年から続くこの歴史ある大会は、お盆期間を利用し開催しているため「盆野球」とも呼ばれ、町外在住の元町民も里帰りを利用して出場できる大会となっています。なかには親子や兄弟で出場している自治会もあり、年に1度の大会は親睦と交流で盛り上がりました。優勝は仲町自治会、準優勝は大通自治会となりました。



8/15
(金)

8/16
(土)~



古本リサイクルまつり

8月16、17日の両日、図書館で「古本リサイクルまつり」が開催されました。

いらなくなった本の再利用を目的に始まった古本リサイクルまつりは、今年も開館前から人が並ぶほどの大盛況。家庭で読み終わった本や図書館の廃棄本など約1,300冊の古本が新しい持ち主の元へと渡って行きました。

8/16
(土)



稚児舞「未来を受け継ぐ子供達」試写会

わっさむ情報文化発信企画が制作した町の指定文化財稚児舞の歴史をまとめた映像「稚児舞『未来を受け継ぐ子供達』」の試写会が郷土資料館でおこなわれました。

映像は活動の様子とともに、わっさむ稚児舞発祥のいきさつや歴史を町民のインタビューを交え、約20分にまとめられており、試写会参加者からは「感動した」「涙が出そうになった」との感想も聞かれました。当日は約60名が来館し、それぞれが映像に思いを馳せていました。

8/22
(金)



活性化センター公開デー

農業活性化センター農想塾において、公開デーが開催されました。

試食コーナーでは、米の食べ比べ、カボチャ団子、ペポカボチャ麺、じゃがバターなど新鮮な農産物を味わい、例年人気のジャガイモ収穫体験には75名が参加し、汗いっぱいかきながらバケツに山盛りに詰め込み、収穫する喜びを感じていました。

また、新プログラム「食品なぞなぞ」や昨年からの作付けが始まっているペポカボチャに来場者の関心が集まっていました。

8/21
(木)



いきいきシニアを目指して

公民館で、(有)イズミック 健康運動指導士 石川朋美先生を講師に招き、「頭と体の健康体操」をテーマに介護予防講演会をおこないました。

この講演会は町と三笠山大学講座の共催で開催され、終始笑いの絶えない雰囲気の中、参加者は座っておこなえる介護予防に効果的な体操を実践、日常生活の中で運動を取り入れる工夫や、楽しく運動をおこなうコツが紹介されました。

8/31
(日)~



わっとさむスクール開校

子どもたちが家庭を離れ、共同宿泊生活をしながら規則正しい生活プログラムを実践する通学合宿「わっとさむスクール」の第一期が公民館で8月31日から9月4日までの4泊5日の日程でおこなわれました。

通学合宿は学習の時間、スポーツの時間、共同での就寝、起床といったプログラムを通し、改めて生活リズムを整えることを目的としたもので、参加した児童は普段とは違う環境にとまどいも見せていましたが、しだいに共同生活にも慣れ、活発にプログラムに取り組んでいました。

9/2
(火)



早寝早起き朝ごはん朝ウンチ

教育力向上講演会第3弾「おなか元気教室～早寝早起き朝ごはん朝ウンチ」が公民館で開催されました。

㈱ヤクルト北北海道管理栄養士の井田史織さんを講師に迎え、腸を健康にするために重要な食事、生活習慣、排便習慣についてわかりやすい絵とともに解説、参加者は熱心に耳を傾けていました。

9/1
(月)



どうしたらいいのかな？

保育所児童を対象に、土別警察署の警察官による防災訓練がおこなわれました。

全国で災害が多発していることから「防災の日」にあわせ、幼少期から「災害の備え・心構え」を習得できるようにと、5・6歳児26名がゲーム形式で防災について、楽しみながら学びました。

【表紙にも写真掲載】